

く り たちから ひょう  
庫理遺跡は花巻市田力にあり、市役所から北東に約 5km、標  
こう う がん けいせい ていぼう りっ ち  
高約 176 ~ 178m の北上川右岸に形成された自然堤防上に立地  
しています。

ほじょうせいび じぎょう ともな まいぞうぶん かざい  
本遺跡は 97 年に圃場整備事業に伴い県埋蔵文化財センター  
が、また 98 年には砂利採取に先立ち、花巻市教育委員会がそ  
れぞれ発掘調査を行いました。その結果、遺構は縄文時代の陥  
いこう じょうもん おと  
し穴 1 基、平安時代 (約 1,200 ~ 1,100 年前) の竪穴建物跡 18  
き へいあん たてあなたてものあと  
棟や時期不明の土坑 10 基、焼土 9 基などが見つかりました。  
とう どうこう しょうど  
遺物は、土師器や須恵器などの他に金属製品や縄文土器、石器  
いぶつ はじき すえき きんぞく せつき  
も数点出土しています。出土した土師器と須恵器の中には、墨  
ぼくしょ  
で文字が書かれた墨書土器 15 点 (「和」や「福」など)、さら  
とが きざ こくしょ  
にヘラや先の尖った道具で記号などを刻んだ刻書土器が 5 点見  
みずどり  
つかりました。刻書土器の 4 点には水鳥がエサをついばもうと  
えが  
する姿が描かれており、市内では初めての出土例となりました。  
かんけい ちょうけいへい  
この他に、建物跡の床下から完形の長頸瓶 3 点が 1 ヶ所でま

まって出土してお  
ぎしき  
り、特別な儀式な  
しせつ ゆう  
どをする施設を有  
した遺跡かもしれ  
ません。



調査区全景 (1998 年調査)